

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-1
人権施策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

健康推進課長 山崎一幸

電話番号

0852-22-5248

事務事業の名称	ハンセン病療養所入所者等支援事業	
目的	(1) 対象	ハンセン病療養所入所者等及び県民
	(2) 意図	ハンセン病療養所入所者の福祉の増進と県民に対する正しい理解の促進を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ハンセン病療養所入所者家族援護費…療養所入所により、生活困難な県内居住家族の生計を維持するため、援護を行う。 療養所入所者里帰り事業…県出身の療養所入所者等に郷土島根を身近に感じていただき、県民との交流が広がるよう、里帰り事業を行う。 ハンセン病に関する普及啓発事業…ハンセン病問題に対する県民の正しい理解を深めるため、普及啓発を行う。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 ハンセン病療養所訪問者数	目標値		150.0	150.0	150.0	150.0	人
		取組目標値						
	式・定義 県・島根県藤楓協会事業で療養所へ訪問した県民の人数	実績値	70.0	73.0				%
		達成率	-	48.7	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	939	1,521
うち一般財源 (千円)	939	919

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 島根県出身のハンセン病療養所入所者・・・7園に16名 平均年齢85歳(H29.3.31現在)
- 訪問人数・・・73人(延べ92人)
 - ①県職員及び島根県藤楓協会役員による訪問・・・12人(延べ27人)
 - ②人権担当職員、看護学生による訪問研修・・・51人(延べ55人)
 - ③民間団体による訪問(島根県藤楓協会補助活用)・・・10人(年度による変動が大きい。)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成27年度は島根県藤楓協会の補助を利用した民間団体の訪問がなかったが、周知の結果、平成28年度は利用する団体があった。また、団体が補助を利用して訪問しやすいよう、対象となる訪問活動について条件を見直した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 入所者の里帰りが難しくなっており、交流の機会が少なくなっている。
- ハンセン病問題の風化が危惧されている。

②困っている状況が発生している「原因」

- 入所者の高齢化が進んでいる。
- ハンセン病問題の普及啓発が充分とはいえない。

③原因を解消するための「課題」

- 県民が療養所を訪問する機会を増やす必要がある。
- 島根県藤楓協会の補助制度の活用を促していく必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 島根県藤楓協会と協力し、訪問や里帰りを通して島根県出身者との交流を継続する。
- 島根県藤楓協会による補助制度についての周知をさらに行う。
- 島根県の所持している啓発資料等を活用し、県民の方々に療養所の訪問やハンセン病問題について学ぶ機会を提供できるように、引き続き普及啓発活動に努める。